

箱根町観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する  
検討会議の検討経過（令和元～2年度）について

1 検討会議の主な議題と結果

回数 (開催日)	主な議題と結果
第1回 (R1.8.2)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 検討会議の目的、会議運営について</li> <li>2 これまでの行財政改革と検討会議の設置に至る経過について</li> <li>3 検討会議における検討事項と今後のスケジュールについて</li> </ol> <p>【結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 職務代理者、会議の運営方法を決定した。</li> <li>2 これまでの行財政改革の取組み経過等を共有した。</li> <li>3 検討会議の3項目の検討事項を確認した。 今後のスケジュール（案）の内容を変更した。</li> </ol>
第2回 (R1.9.13)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 検討会議における検討事項と今後のスケジュールについて</li> <li>2 観光まちづくりの充実・維持に係る財源の確保手法について <ul style="list-style-type: none"> <li>・税制の概要について</li> <li>・他団体の実施事例について</li> </ul> （法定税の超過課税、法定外税、協力金・寄付金など）</li> </ol> <p>【結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 検討会議の前提条件と対象範囲を確認した。</li> <li>2 他団体の財源確保策の現状の調査結果を確認した。</li> <li>3 その他（発言者の記名方法を確認した）</li> </ol>
第3回 (R2.1.17)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 入湯税の現状について <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な入湯税課税団体の課税及び充当状況等について</li> <li>・宿泊税と入湯税の同時課税団体の状況調査結果について</li> </ul> </li> <li>2 観光まちづくりに関連する町の事務事業等について① （町の歳出の分類結果）</li> </ol> <p>【結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本町と入湯税課税団体の課税等状況の比較を行った。</li> <li>2 観光と暮らしの対象範囲と分類方法を議論した。</li> <li>3 その他（夕張市の財政再建の状況を確認した）</li> </ol>

回数 (開催日)	主な議題と結果
第4回 (R2.3.19)	1 HOT21 観光プラン実施計画（案）について 2 観光まちづくりに関連する町の事務事業等について② （町の歳出の分類結果） <b>【結果】</b> 1 HOT21 観光プラン実施計画（案）内容の質疑を行った。 2 町の歳出を観光客と町民向けの視点から5区分に分類した。
第5回 (R2.7.2)	1 観光まちづくりに関連する町の事務事業等について③ （町の歳出の分類結果） 2 観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方について （先進事例調査の実施について） <b>【結果】</b> 1 分類方法と各区分の歳出項目、対象範囲を確認した。 2 先行事例調査を実施する前に本町で導入可能な候補を絞ることを決定した。
第6回 (R2.10.7)	1 観光まちづくりの充実・維持に係る財源の検討対象について （他団体の実施事例の調査結果について） <b>【結果】</b> 1 他団体の実施事例における本町で導入した場合の試算額、実施にあたっての課題、使途の調査結果をもとに検討の視点を議論した。

※第6回以降は、コロナ禍が収束するまで検討会議の開催を見送ったもの。

## 2 検討会議の取組成果

検討会議において、具体的に次の3点について検討することとなった。

- ①歳出の対象分野と規模感
- ②観光まちづくりの財源のあり方
- ③具体的な制度内容

そのうち、「①歳出の対象分野と規模感」は、3回にわたり議論した結果、第5回会議をもって概ね了承された。その後、「②観光まちづくり財源のあり方」について検討していたところで会議開催を見送った。そのため、第7回以降の検討会議では、検討対象候補の中から財源確保策を絞り、対象事業や経費の整理、具体的な制度設計の内容を議論することを予定していた。